

## 京都探訪「舞鶴市へいらっしやい」

舞鶴市行政相談委員一同



空山からの景色

現在の舞鶴市は、昭和 18 年（1943）5 月 27 日（海軍記念日）に軍の要請により、旧舞鶴市（西舞鶴地区）と旧東舞鶴市が合併してできました。それまでは旧舞鶴市は、田辺城（舞鶴城）の城下町として藩政時代からの中心地であった。一方旧東舞鶴市は、明治 34 年に鎮守府がおかれ、軍事的要地として発展した新舞鶴町、中舞鶴町等が合併してできました。

東・西・中、それぞれの地域特性があり、地域の対抗意識が根付いていました。例えば、警察署も東西にありましたが、舞鶴警察署を統合する際の行政相談委員もそれぞれの地域から選ばれた形となっています。

しかし、現在の少子超高齢社会状況では、行政改革の認識もあり、地域対抗意識感情は薄れつつあり、舞鶴は一つという一体感の持てる住民意識が醸成されつつあります。

舞鶴市政も方向性「住んでよし、働いてよし、訪れてよし」を明確にし、推進するための施策に取り組んでいます。

平成 28 年度では、「飛躍・行動の元年」として舞鶴版・地方創生の政策目標である「交流人口 300 万人・経済人口 10 万人」について、定住率、移住率、交流人口の 3 つの指標を設定し、地域一丸となって、舞鶴版・地方創生を「心豊かに暮らせるまちづくり」「安心のまちづくり」「活力のあるまちづくり」の 3 つのまちづくり重点に推進するとしています。

私たちの「ふるさと」には、それぞれの地域ごとに歴史的経緯や風土に根ざした伝承や風習が、世代を超えて受け継がれています。これら有形・無形の歴史的魅力や特色を「地域固有のタカラモノ」として、文化・伝統を語るストーリーを設定するのが「日本遺産—“Japan Heritage”」です。



市政記念館



五老スカイタワー



東郷平八郎邸



海軍記念館

## 【田辺城籠城戦記】

藤本 功 委員

時は、1600年、天下分け目の「関ヶ原の合戦」のおよそ2か月前、徳川家康側について細川家を制圧するための石田三成方15,000の大軍が田辺城を攻めました。城主の細川幽斎は、息子の忠興が主兵力を率いて家康の会津攻めに参加していたため、わずか500人の兵でこれを迎え撃ちましたが、籠城戦となり援軍の見込みもなく落城寸前まで追い込まれます。

そこへ「古今和歌集」の秘事口伝の伝承者であった幽斎公の討ち死による「古今伝授」の廃絶を憂慮した後陽成天皇から勅命が届けられます。天皇の勅命とあって石田方の軍勢は、ただちに包囲を解き、およそ1ヶ月半にわたる籠城戦に幕が下りました。その時に詠まれた和歌“いにしえも 今もかはらぬ 世の中に ころの種を 残す言の葉”が、今も田辺城跡の心種園の碑に刻まれ語り継がれています。



田辺城



田辺城祭りの様子

## 【舞鶴日本遺産—“Japan Heritage”】

鈴木 貫一 委員

舞鶴の「日本遺産—“Japan Heritage”」は、明治22年(1889)に第4鎮守府(舞鶴)設置の勅令公布から明治34年(1901)の海軍舞鶴鎮守府が置かれて始まった、近代化への歩みと再出発のストーリーです。鎮守府開設という国家プロジェクトにより、大型艦船が停泊する港、当時の粋を集めた赤れんが建造物、鉄道や水道など、さまざまな施設が築かれ、多くの人とモノが集まり、活気に溢れた近代的な都市へと発展していきました。やがて、終戦を迎え、大型船ができる特長を活かして引揚港に指定され、大陸からの多くの引揚者を迎え入れました。舞鶴の港に降り立った人々は、大きな不安を抱えながらも舞鶴市民の温かいおもてなしに力を与えられ、家族の待つ故郷へと旅立って行きました。舞鶴は、軍港都市として共通のストーリーをもつ横須賀市、呉市、佐世保市と共に「日本遺産—“Japan Heritage”」に認定されたことを契機に、舞鶴だけの“とっておきのストーリー”を紹介しています。





赤レンガ5号棟



赤レンガロード

### 【舞鶴引揚記念館】

多田 弘子 委員

本記念館は、昭和 63 年（1988）、多くの引揚者が祖国への第一歩を踏みしめ、人生のスタートを切った舞鶴市平の地に、日本全国からの寄付金を受けた舞鶴市が建立したものです。日本本国への苦難に満ちた引き揚げと筆舌に尽くしがたい旧ソ連領内の抑留生活の歴史を後生に伝え、平和の尊さを世界に発信しています。

戦後 70 年を迎えた平成 27 年（2015）、その収蔵資料の中から 570 点が、特に希少性が高く、世界的にも重要性を持ち、広く世界の人々が共有すべき資料として、ユネスコ世界記録遺産に登録されました。それらの資料は、人間愛、家族愛、祖国愛、同胞愛、平和への願い、そして絶望的な状態に置かれた人間の持つ生きる希望と生命力など、人類に共通する極めて人間的かつ普遍的なテーマを発信しています。



引揚記念館



引揚栈橋